

■穂積八束 法学者。家父長権の強大な明治民法を施行させ、一貫した天皇制絶対主義者で、天皇機関説を排した。

ほずみやつか

桜田門外変・1860 = 伊予国(愛媛県)宇和島で、藩校国学教授穂積重樹の三男に生まれる。_穂積陳重の弟。

明治維新・・1868 = 8歳：

戊辰戦争終・1869 = 9歳：

明治6年政変 1873 = 13歳：

藩校明倫館で水戸藩出身の山内憲之に学ぶ。

大久保暗殺・1878 = 18歳：

学生時代から井上毅に囑望されて、

明治14年政変1881 = 21歳：

岩倉具視没・1883 = 23歳：_東大文学部政治学科を卒業し、

秩父事件・・1884 = 24歳：_ドイツに留学。

ストラスブルク大学で学び、ラーバントの国法学の影響を受ける。

国民之友始・1887 = 27歳：

帝国憲法発布1889 = 29歳：_帰国。東大教授となり、憲法講座を担当。法制局参事官を兼任。

その法学は、留学中に学んだドイツ国法学の立場から君権絶対主義をとり、

足尾鉋毒始・1891 = 31歳：_自由主義的な旧民法に対し、「民法出デテ忠孝亡ブ」と題する批判を発表し、いわゆる"民法典論争"をまきおこし、旧民法の施行を止めさせ、家父長権の強大な明治民法を施行させた。枢密院書記官。

郡司千島探検1893 = 33歳：法制調査会査定委員，教科用図書調査委員，

日清戦争始・1894 = 34歳：

白馬会・・・1896 = 36歳：条約実施準備委員。_主著「憲法大意」，

八幡製鉄始・1897 = 37歳：_法科大学学長に就任。

Bushidou・・1899 = 39歳：勅選貴族院議員，皇室制度調査局御用掛。

田中正造直訴1901 = 41歳：_主著「憲法提要」(全2巻)。

日露戦争終・1905 = 45歳：

韓国併合・・1910 = 50歳：宮中顧問官など、要職を兼任した。

大逆事件判決1911 = 51歳：_法科大学学長を退任。

明治天皇没・1912 = 52歳：_美濃部達吉の<天皇機関説>をめぐる美濃部と上杉慎吉の論争に、浮田和民と参加し、上杉を擁護して天皇機関説を排した直後、明治天皇の大葬に参列してひいた風邪がもとで没した。